

株主メモ	
事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎決算期の翌日から3ヶ月以内
基準日	毎年12月31日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同 取 次 所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店および全国各支店
公 告 方 法	http://www.nextgen.co.jp/ 電子公告とし、当社ホームページに掲載します。但し、事故その他やむを得ない事由により、電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載します。

(お知らせ)  
住所変更、名義書換請求および配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。  
●フリーダイヤル 0120-87-2031 (24時間受付：自動音声案内)  
●ホームページ [http://www.chuomitsui.co.jp/person/p\\_06.html](http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html)

■ ホームページのご紹介



株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとした情報開示を行っております。また、当社の事業内容や動向が紹介されておりますので、当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

<http://www.nextgen.co.jp/>



## 第7期 報告書

2007年1月1日から2007年12月31日まで


### 株主の皆様のお声を聞かせてください


下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

 <http://www.e-kabunushi.com>  
アクセスコード **3842**

**いいかぶ**  Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶ と4文字入れて検索してください。

 空メールにより URL自動返信 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

 携帯電話からもアクセスできます QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。  
ご回答いただいた方の中から抽選で贈呈(図書カード500円)を進呈させていただきます

 ※本アンケートは、株式会社エーツメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)  
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。  
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日10:00～17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

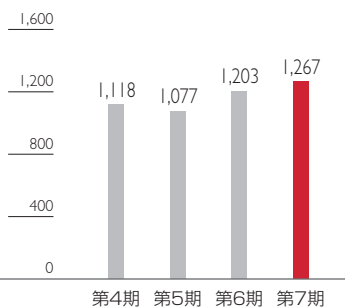


株式会社ネクストジェン

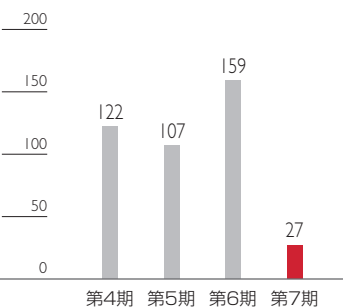
〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-4 KDX麹町ビル9F  
TEL: 03-3234-6855 FAX: 03-3234-6857



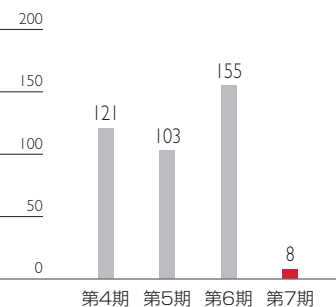
売上高 (単位: 百万円)



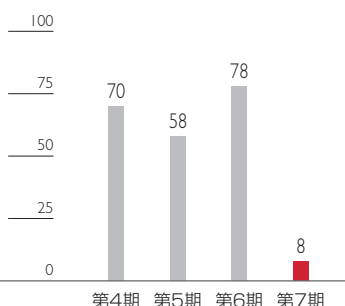
営業利益 (単位: 百万円)



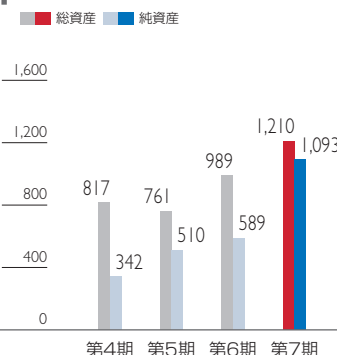
経常利益 (単位: 百万円)



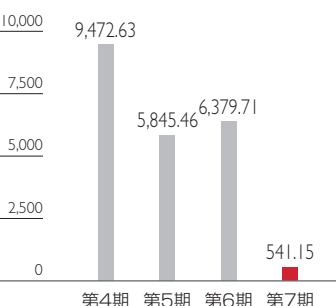
当期純利益 (単位: 百万円)



総資産 / 純資産 (単位: 百万円)



1株当たり当期純利益 (単位: 円)



(注) 当社は、2004年12月1日付(普通株1株を5株)で株式分割を行っており、1株当たり当期純利益は遡及修正を行った場合の数値となっております。

Contents

財務ハイライト	1	財務諸表	7
株主の皆様へ	2	トピックス	9
特集: NEXTGENの事業と今後の展開	3	会社概要 / 株式の状況	10

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

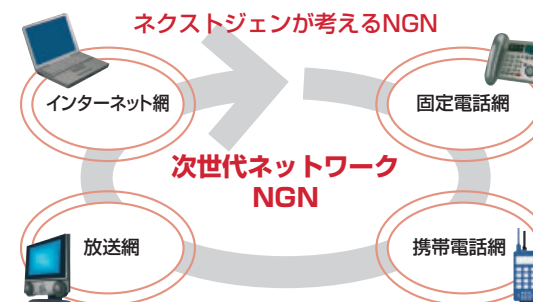
株式会社ネクストジェンは昨年3月14日、大阪証券取引所へラクスへ上場いたしました。これもひとえに皆様のご支援のおかげであり、心より感謝申し上げます。

第7期におきましては、前期の好調な受注実績に伴い、保守サポートやネットワーク構築等のSE/コンサルティングが順調に推移いたしました。一方で、一部顧客の投資計画見直しなどによりライセンス製品販売が当初計画よりも低調に推移し、全体の売上高としては前期比5.3%増という結果になりました。また、利益面につきましても、外注費用などの原価や販売費及び一般管理費の増加により、当初発表していた見通しを修正することとなりました。この結果を踏まえ、今後は自社ライセンス製品の充実と拡販を推し進め、事業規模拡大と利益率改善を目指してまいります。

なお、当社の事業ドメインである情報通信業界では、大手通信事業者を中心に、次世代通信網 (NGN) と呼ばれるIP技術を用いた通信網構築への設備投資が拡大しつつあります。2008年にはNTTが推進するNGNの商用サービスが始まる予定であり、当社の事業戦略においても重要な節目になると考えております。

当社が考えるNGNとは単にIP化された電話通信網ではなく、「通信産業と直接関係のなかった事業・サービス・製品が、産業の垣根を越えて連携し通信を道具として活用できるネットワーク」そのものであるとしています。信頼性が高く、多様なサービスを実現するネットワーク社会のために、現状に留まることなく新たな挑戦に対し積極的に取り組んでいきたいと考えております。

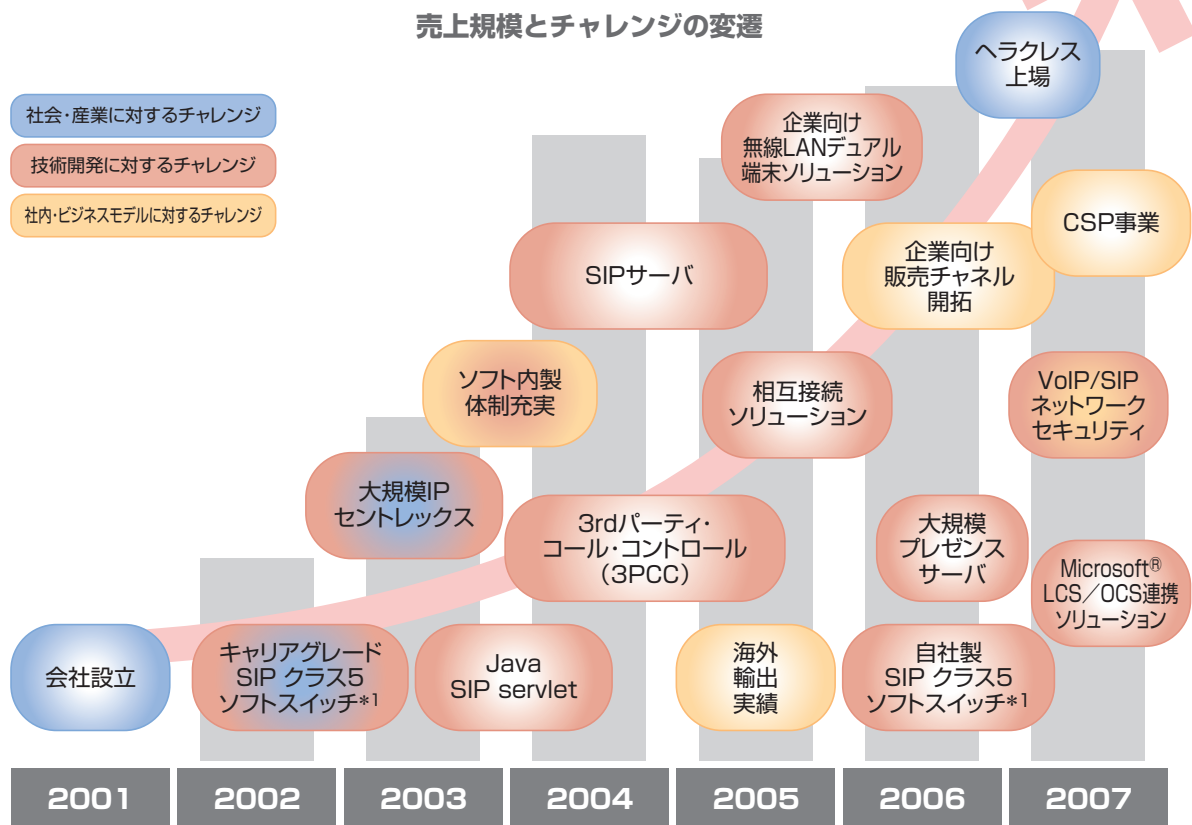
今後とも、企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続き皆様のご支援とご理解を宜しくお願い申し上げます。



代表取締役社長 大西 新二

● **チャレンジの変遷**

当社は、IP電話サービスを中心とした次世代通信網（NGN）関連の通信制御システム・ソフトウェア開発を行っております。2001年の設立以来、IP電話システムや大規模IPセントレックスといった専門的技術が必要とするソフトウェア製品を、多くの通信事業者や企業に提供してまいりました。



用語解説

\*1 SIP クラス5 ソフトスイッチ：旧来の電話通信ネットワークにおける加入者系電話交換機をIP技術で代替したもの。  
 \*2 IP：Internet Protocolの略で、インターネットで用いられている通信規約（プロトコル）。通信データをパケットと呼ばれる単位で伝送するパケット交換方式で、インターネットの普及により、最も普及したプロトコルのひとつ。  
 \*3 PBX：Private Branch eXchange（構内交換機）の略で、企業などで内線電話同士の接続や、加入者電話網やISDN回線などの公衆回線への接続を行う機器のこと。

● **ソリューション展開**

通信事業者や企業といったお客様に対して、設立以来培ってきた自社開発のソフトウェア資産や独自の技術を利用して、様々なソリューションを提供しております。

**通信事業者向け**

**大規模IPセントレックス・ソリューション**

通信事業者が提供する企業向けのIP\*2電話サービスのひとつが「IPセントレックス」であり、当社はその核となる大規模なIPセントレックス・システムを日本で初めて通信事業者に納入、商用稼働を実現させました。同サービスを導入した企業は、従来構内に必要なPBX\*3等の機器設備が不要になり、簡単に社内電話システムのIP化が可能になります。

**3rdパーティ・コール・コントロール (3PCC) ソリューション**

Web上の住所録やデータベース等にある電話番号をクリックするだけで、簡単に発信者とその相手先とを繋げることができるソリューションです。電話番号などの個人情報等の流出を防ぐこともでき、企業のリスクなどを軽減することが可能です。また、この通信システムは特許取得済み（第3699720号）です。

**顧客別売上高推移** (単位：百万円)

期	企業向け	通信事業者向け
第4期	1,089	28
第5期	1,017	60
第6期	925	277
第7期	728	538

**企業向け**

**FMC\*5による無線LAN\*6デュアル端末ソリューション**

1つの携帯電話端末で固定電話網と携帯電話網の両方を使い分けることができるソリューションです。無線LAN対応の携帯電話を利用し、会社内や家庭内は無線LANで、社外や屋外では携帯電話網で通話することができます。屋内外で利用するネットワークを自動的に変えるので、通話料の削減や端末管理のスリム化が実現します。

**通信事業者向け**

**SIP\*4相互接続ソリューション**

固定電話網やインターネット網など、異なるネットワーク間で情報をやり取りする場合には、それぞれで使用されるSIPの信号方式の差異・差分を吸収し、1つのネットワークの様に接続利用することができるソリューションです。

**企業向け**

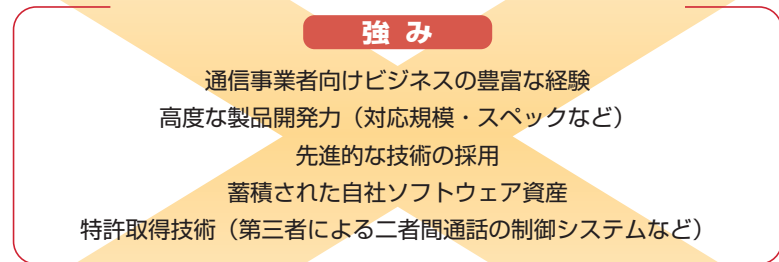
**Microsoft® LCS/OCS連携ソリューション**

マイクロソフト株式会社が提供するOffice Communications Server 2007とPBXやSIPサーバとの相互接続を可能とするソリューションです。電話機能を提供するPBXやSIPサーバとOffice Communications Server 2007を連携することにより、在席状況確認をはじめ、Microsoft OfficeなどのPCアプリケーションからの電話の発信や自動転送機能が可能になります。

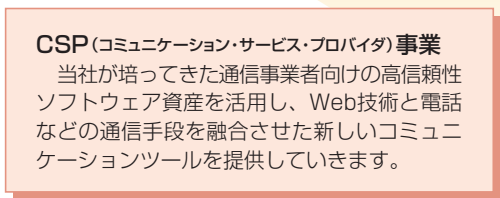
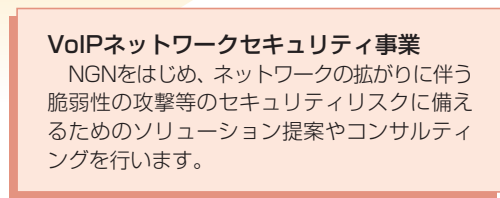
\*4 SIP：Session Initiation Protocolの略、インターネット電話などで用いられる、通話制御プロトコルのひとつ。  
 \*5 FMC：Fixed Mobile Convergenceの略で、固定電話網と携帯電話などの移動体電話網を融合したサービスの形態。  
 \*6 無線LAN (Local Area Network)：複数台のネットワーク機器を接続するために、無線を利用して構築した同一組織内でデータをやり取りするネットワークのこと。

● 事業の特徴

当社の主要事業は、ソフトウェア製品を用いて顧客の要望に沿ったソリューション提供を行う「NGNソリューション事業」と、納入した製品に関する保守サービスやコンサルティングサービスを提供する「NGNサービス事業」です。



これらの強みに加え、設立以来培った知見とノウハウを活かし、新たな事業を開始しております。

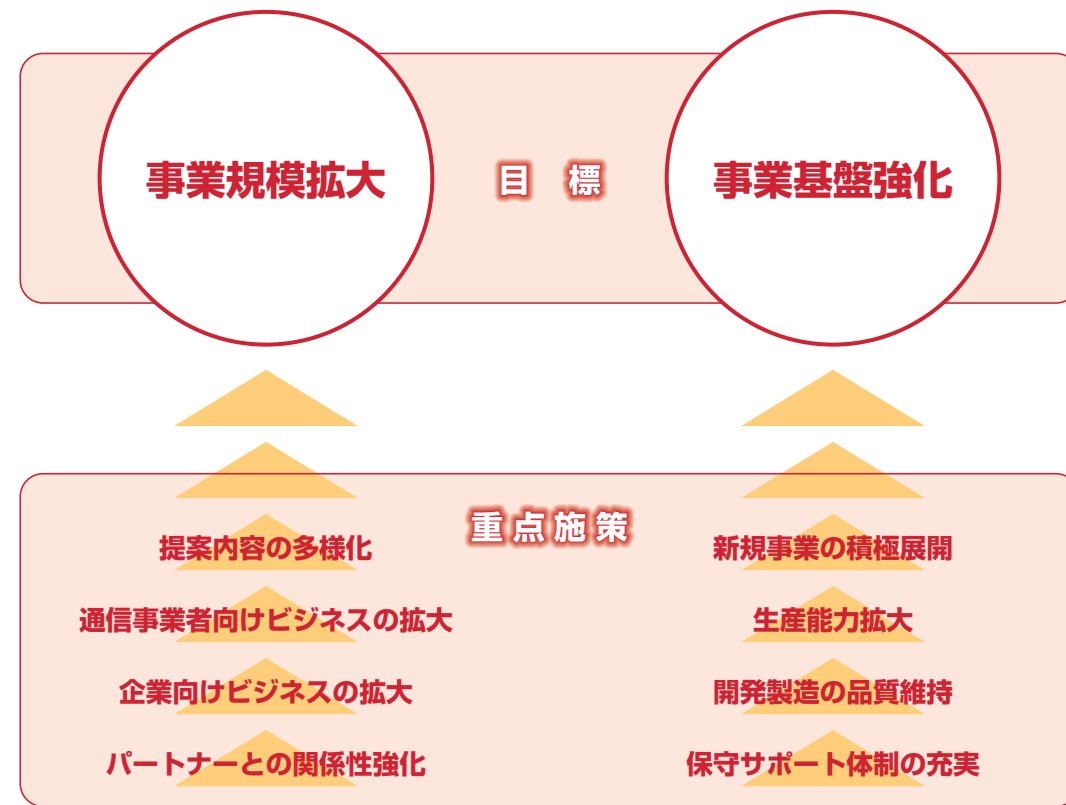


● 今後の展開

情報通信業界においては、2008年3月よりNTTの推進するNGNに関する商用サービスが開始予定であるなど、NGN関連市場への設備投資の拡大が期待されています。

このような中で、当社は事業規模の拡大と継続的成長の礎となる事業基盤の強化を目標に掲げております。その目標を達成するために、以下の重点施策を定め、通信事業者をはじめとした顧客層の拡大と既存顧客に対する潜在案件の発掘に注力していきます。また、重要な課題である安定した保守サポート等のサービス提供体制の構築や、品質レベルの維持向上による顧客満足度とコストの最適化に努めてまいります。

これらの取り組みに加え、新たな事業の柱を確立すべく、新規事業についても市場拡大を目指し、積極的に取り組んでまいります。



■ 貸借対照表 (要旨)

(単位：千円)

科目	第7期		科目	第6期	
	2007年12月31日現在	2006年12月31日現在		2007年12月31日現在	2006年12月31日現在
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
<b>流動資産</b>	<b>777,570</b>	<b>797,261</b>	<b>2 流動負債</b>	<b>117,454</b>	<b>400,185</b>
現金及び預金	253,185	181,832	買掛金	9,401	73,153
売掛金	324,241	506,999	短期借入金	—	150,000
有価証券	99,892	—	未払金	42,588	35,523
原材料	20,850	—	未払費用	10,966	51,667
仕掛品	1,067	4,429	未払法人税等	—	62,519
前払費用	16,195	77,449	未払消費税等	—	14,504
繰延税金資産	14,066	22,922	前受金	30,630	4,687
未収入金	7,601	—	預り金	8,941	8,128
未収還付法人税等	36,525	—	賞与引当金	10,000	—
その他	3,944	3,627	製品保証引当金	4,600	—
			その他	325	—
<b>1 固定資産</b>	<b>433,264</b>	<b>192,681</b>	<b>負債合計</b>	<b>117,454</b>	<b>400,185</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>53,138</b>	<b>31,550</b>	<b>純資産の部</b>		
建物	6,501	7,230	<b>株主資本</b>	<b>1,093,380</b>	<b>589,757</b>
器具備品	46,637	24,319	<b>資本金</b>	<b>398,281</b>	<b>150,541</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>350,652</b>	<b>132,973</b>	<b>資本剰余金</b>	<b>348,281</b>	<b>100,541</b>
ソフトウェア	343,667	112,167	資本準備金	348,281	100,541
ソフトウェア仮勘定	6,984	20,805	<b>利益剰余金</b>	<b>346,818</b>	<b>338,675</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>29,472</b>	<b>28,157</b>	利益準備金	490	490
繰延税金資産	188	—	その他利益剰余金	346,328	338,185
差入保証金	29,283	28,157	繰越利益剰余金	346,328	338,185
<b>資産合計</b>	<b>1,210,834</b>	<b>989,943</b>	<b>3 純資産合計</b>	<b>1,093,380</b>	<b>589,757</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>1,210,834</b>	<b>989,943</b>

**Point 1** 固定資産

サーバ等の設備の購入や販売用及び保守用ソフトウェアライセンスの増加により、無形固定資産が217,678千円増加し、全体として前事業年度と比較して240,582千円増加し、433,264千円となりました。

**Point 2** 流動負債

主に短期借入金150,000千円の返済や未払費用、未払法人税等の減少により、前事業年度と比較して282,731千円減少し、117,454千円となりました。

**Point 3** 純資産合計

主な要因として、2007年3月14日付の株式上場に伴う公募増資及びストック・オプションの行使による資本金及び資本準備金の増加により、前事業年度と比較して503,622千円増加し、1,093,380千円となりました。

■ 損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科目	第7期		第6期	
	2007年1月1日から2007年12月31日まで	2006年1月1日から2006年12月31日まで	2007年1月1日から2007年12月31日まで	2006年1月1日から2006年12月31日まで
<b>売上高</b>	<b>1,267,493</b>	<b>1,203,324</b>		
売上原価	777,007	687,649		
<b>売上総利益</b>	<b>490,485</b>	<b>515,674</b>		
販売費及び一般管理費	462,614	356,499		
<b>営業利益</b>	<b>27,871</b>	<b>159,175</b>		
営業外収益	1,724	476		
営業外費用	21,016	4,608		
<b>経常利益</b>	<b>8,579</b>	<b>155,043</b>		
特別利益	12,283	—		
特別損失	3,113	11,818		
<b>税引前当期純利益</b>	<b>17,749</b>	<b>143,225</b>		
法人税、住民税及び事業税	939	78,711		
過年度法人税等	—	5,823		
法人税等追徴税額	—	702		
法人税等調整額	8,667	△20,884		
<b>当期純利益</b>	<b>8,142</b>	<b>78,872</b>		

■ 株主資本等変動計算書 第7期 (2007年1月1日から2007年12月31日まで)

(単位：千円)

	株主資本							純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計		
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金			
2006年12月31日残高	150,541	100,541	100,541	490	338,185	338,675	589,757	589,757
事業年度中の変動額								
新株の発行	247,740	247,740	247,740	—	—	—	495,480	495,480
当期純利益	—	—	—	—	8,142	8,142	8,142	8,142
事業年度中の変動額合計	247,740	247,740	247,740	—	8,142	8,142	503,622	503,622
2007年12月31日残高	398,281	348,281	348,281	490	346,328	346,818	1,093,380	1,093,380

2007

3月	14日 ● 大阪証券取引所ニッポン・ニュー・マーケット「ヘラクレス」に上場	大阪証券取引所 ニッポン・ニュー・マーケット 「ヘラクレス」に上場	
4月		2007年3月14日に大証ヘラクレスへ上場いたしました。今後も皆様のご支援のもと頑張っております。	
5月	15日 ● 2007年12月期 第1四半期決算短信発表		
6月	6日 ● 株式会社ソフトフロントとインスタント・メッセージ・サービス向けソリューションの共同商品化 6日 ● 次世代通信網 (NGN) 対応のプレゼンス・サーバを商用導入 13日 ● 通信の総合展示会「Interop Tokyo 2007」出展	通信の総合展示会 「Interop Tokyo 2007」 出展	
7月		2007年6月13日～15日の3日間、東京幕張メッセにて開催された「Interop Tokyo 2007」に出展いたしました。	
8月	8日 ● 2007年12月期 中間決算短信発表 21日 ● 2007年12月期 中間決算説明会		
9月	28日 ● 第7期半期報告書提出		
10月	11日 ● 奈良先端科学技術大学院大学にSIPサーバ導入 17日 ● Microsoft® Office Communications Server 2007との相互接続サーバの開発を表明 23日 ● セキュリティコンサルティングサービスを大手通信事業者向けに提供		
11月	15日 ● 2007年12月期 第3四半期決算短信発表		
12月		ホームページをリニューアル この度当社ホームページを大幅にリニューアルいたしました。より使いやすいページとするために、機能の強化とデザインの刷新を行いました。	

● IR Topics ● Topics

2008

1月			
2月	15日 ● 2007年12月期 決算短信発表		

■ 会社概要 (2007年12月31日現在)

商 号 株式会社ネクストジェン  
Nextgen, Inc.  
所 在 地 〒102-0083  
東京都千代田区麹町3-3-4  
KDX麹町ビル (旧ベルモードビル) 9F  
設 立 2001年11月16日  
資 本 金 398,281,000円  
従 業 員 数 57名

■ 役員 (2008年3月27日現在)

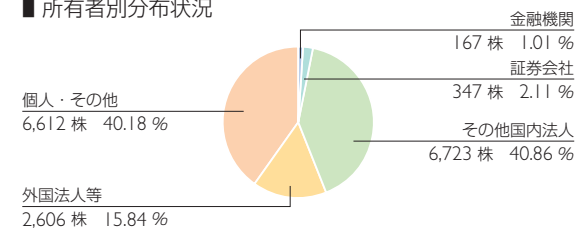
代表取締役社長 大 西 新 二  
取締役副社長 柏 木 宏 之  
取 締 役 亀 田 元 之  
取 締 役(社外) 牧 野 孔 治  
取 締 役(社外) 岩 永 浩 幸  
常勤監査役(社外) 飛 田 和 男  
監 査 役(社外) 三 浦 靖 治  
監 査 役(社外) 出 澤 秀 二

■ 株式の状況 (2007年12月31日現在)

発行可能株式総数 60,000株  
発行済株式総数 16,455株  
株 主 数 1,604名

株 主 名	当社への出資状況	
	所有株数(株)	持株比率(%)
日商エレクトロニクス株式会社	6,183	37.57
Entrepia Solutions, Inc.	1,640	9.96
ネクストジェン従業員持株会	690	4.19
日本ベリサイン株式会社	500	3.03
植山良明	479	2.91
GLQ, LLC	450	2.73
大西新二	431	2.61
古賀英明	379	2.30
渡辺俊一	180	1.09
マネックス証券株式会社自己	146	0.88

■ 所有者別分布状況



■ 所有株式数別分布状況

